

令和4年度 避難所運営ゲーム北海道版（Doはぐ）講師養成研修会実施要領

1 趣旨

避難所運営を自分事としてとらえ、模擬体験できる防災教育教材用「Doはぐ」を、多くの道民に普及し地域防災力を向上させるため、「Doはぐ」実施に必要な講師を養成する「Doはぐ講師養成研修会」（以下「研修会」という。）を実施する。

2 実施日時及び場所

実施日時：令和4年12月17日（土）10:15～15:45

場 所：檜山振興局 4階 講堂

3 参加対象

- (1) 防災業務経験者（警察、消防、自衛隊、道、市町村、開発局、気象台など防災関係機関の経験者及び退職者）
 - (2) 地域防災活動者（防災士、自主防災組織、町内会等で防災活動を行っている者等）
 - (3) 避難所となることが想定される施設の管理運営に当たっている者等（防災担当者を含む）
 - (4) その他地域防災のリーダーとして、意欲的に活動できる者
- ※Doはぐ未経験者も可

4 研修プログラム

【午前の部】10:15～12:00

- ・Doはぐ制度について
- ・Doはぐ講師の役割について
- ・グループワーク（Doはぐの実践）

【午後の部】13:00～15:45

- ・グループワーク（Doはぐの実践）※午前の部の続き
- ・Doはぐゾーニング体験

5 その他

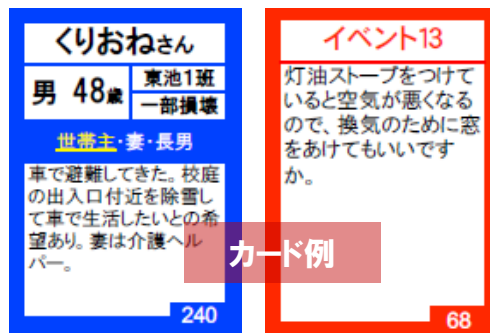
避難所運営ゲーム（Doはぐ）講師養成研修を受講した者から、Doはぐマスターの登録申請があった場合、内容を審査のうえ、Doはぐマスターに認定する。

【避難所運営ゲーム北海道版（Doはぐ）とは】

(1) 概要

避難所運営ゲームとは、避難所を運営するにあたり、発災後数時間から数日間における様々な事象への対応をカードゲームとして疑似体験することを通じ、地域住民が避難所運営を自分事としてとらえ、自らの備えや地域の防災対策の課題を見つけやすくすること。

Doはぐでは、避難者の年齢や性別、それぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図に適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験することができる。



(2) HUGによる教育効果

地域の避難所運営を疑似体験

真冬の避難生活の過酷さを認識

- ・避難所生活を見据えた自らの備えの見直し
- ・地域や避難所の備蓄内容の見直し
- ・避難所運営マニュアルや役割分担の見直し等